

人文学部人間関係学科カリキュラムマップ										
ディプロマポリシー	全学DP	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成					
	学科DP	人間関係についての基礎的な教養と、人間性への深い理解力の養成	他人に共感し理解するコミュニケーション力と、社会に積極的に関わろうとする自立した思考力の養成	人間関係に関する専門的な知識と、人間社会の多様なあり方を理解し的確な判断ができる適応力の養成	社会と文化に関する知識を日々の暮らしの中で生かせる技術力と、多様な問題を解決すべく自ら行動する実践力の養成					
学修指針・学修到達度	到達度lv4	人間関係に関する十分な基礎的教養を有し、さらにそれを自分で高めていくことができる。	自立した人間としての思考力を有し、自分自身を理解し自己の価値観・世界観を確立している。	他人に共感し理解できる力を有する。また多様な価値観に応じて柔軟に自身を主張・発信することができる。	積極的に多様な集団や社会と関わることができ、自己の役割を考え貢献できる努力し達成する力がある。	専攻するテーマを中心に、人間関係に関する専門的な知識を有し、それを高める方法を知っている。	人間や社会に関して直面する諸問題について課題を発見し、自分なりの解決策を見つけることができる。	社会と文化に関して学んだ知識・技術を自分の生活に取り込む適応力があり、さらにそれを高めることができる。	生活する中で起きる多様な問題に積極的に取り組む行動力と、解決できる実行力がある。	
	到達度lv3	人間関係に関する基礎的な知識を有し、それを高める方法を知っている。	自立した思考の必要性を理解し、自分自身の価値観を構築しようと努力している。	他者の存在を公平に認識し、それに対して理解し共感しながら自分の意見を発信できる。	グループワークなど集団作業において目標を自覚し、自分の役割を考え達成するよう努力できる。	専攻するテーマについて、多角的に情報を整理した上で根拠を示しつつ考察することができる。	人間や社会に存在する多様な問題について自己の視点から分析し、自分の言葉で論じることができる。	社会と文化に関して学んだ知識や技術を自己の生活に活かそうと努力できる。	生活する中で起きる多様な問題に自分なりに取り組む行動力と解決できる実行力がある。	
	到達度lv2	自分自身の人間関係に関する基礎的な知識で、足りない部分を認識できる。	自分自身について客観的に見つめることができるようになる。	他者の存在を公平に認識し、それに対して理解し共感することができる。	チームワークを理解し、その一員として積極的に関わろうとする意欲があり、実行できる	専攻するテーマについて、多角的に情報を整理することができる。	人間や社会におけるさまざまな問題を自己の関心に即して具体的に挙げるることができる。	社会と文化に関しての知識や技術と、自分の生活との関連性を認識できる。	生活する中で起きる多様な問題に自分なりに取り組む行動力がある。	
	到達度lv1	人間関係について、自分の知っていることを述べるができる。	自分らしさとは何かを考えるようになる。	他者の存在を認め、それそれぞれの価値観があることを理解している	集団活動のメンバーとして何が求められているか、必要な要素を知ることができる	専攻するテーマについて、情報を集めることができる。	人間や社会に関するさまざまな問題があることを理解する力がある。	社会と文化に関しての知識や技術を自分のものにしていく	生活する中で起きる多様な問題に自分なりに取り組もうと努力する。	
学年	学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力	
専門基本科目	1	基礎ゼミⅠ	△	○	○	◎				
	1	基礎ゼミⅡ	△	○	◎	○				
	2	基礎ゼミⅢ	△	◎	○	○				
	2	基礎ゼミⅣ	△	○	○	◎				
	1・2	女性と健康Ⅰ	◎				○	△		
	1・2	女性と健康Ⅱ	◎				○	△		
	1・2	化粧の文化史Ⅰ	○				◎		△	
	1・2	化粧の文化史Ⅱ	○				◎		△	
	1・2	コミュニケーションの心理学Ⅰ	◎	△	○		○			
	1・2	コミュニケーションの心理学Ⅱ	◎	△	○		○			
1・2	現代社会論Ⅰ	○				◎	○			
1・2	現代社会論Ⅱ	○				◎	○			
専門科目	学年	学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
	2	化粧文化論		○		○			◎	
	2・3	流行文化論	○				◎	○		
	2・3	健康文化論	◎				○	○		
	2・3	家族の文化論	◎				○	○		
	2・3・4	服装の美意識Ⅰ	○				◎		○	
	2・3・4	服装の美意識Ⅱ	○				◎		○	
	2・3・4	和装文化論Ⅰ		○			○		◎	
	2・3・4	和装文化論Ⅱ		○			○		◎	
	3・4	セルフプロデュース論		○	◎		△		○	
	3・4	ビューティービジネス論	◎				△		○	
	2・3・4	身体文化論Ⅰ	◎		○			△		
	2・3・4	身体文化論Ⅱ	◎		○			△		
	1・2・3	身体文化実習Ⅰ			△	○			◎	
	1・2・3	身体文化実習Ⅱ			△	○			◎	
	2・3	コミュニケーションの社会学Ⅰ	○		◎		○	△		
	2・3	コミュニケーションの社会学Ⅱ	○		◎		○	△		
	2・3・4	恋愛の心理学	○	△	○		◎			
	2・3・4	結婚の心理学	○	△	○		◎			○
	2・3・4	企業への心理学				○	◎			○
	2・3・4	自己分析の心理学		○			◎			○
	2・3・4	自己表現法Ⅰ		◎	○	△				
	2・3・4	自己表現法Ⅱ		◎	○	△				
	2・3・4	メディア文化論Ⅰ	○				○	◎		
	2・3・4	メディア文化論Ⅱ	○				○	◎		
	2・3	映像メディア史	○				◎	○		
	2・3・4	映像広告の研究	○				◎	○		
	2・3・4	情報メディアシステム	○				◎		○	
	2	プレゼンテーション実習Ⅰ			△	△			◎	○
	2	プレゼンテーション実習Ⅱ			△	△			◎	○
	2	人間関係学実習Ⅱ			○	○			◎	
	2・3	現代社会総合講座Ⅰ	○				◎	○		
	2・3	現代社会総合講座Ⅱ	○				◎	○		

3	学外実習				○			○	◎
3	身体文化ゼミⅠ				△	○	◎		○
3	身体文化ゼミⅡ				△	○	◎		○
4	身体文化ゼミⅢ				△	○	◎		○
4	身体文化ゼミⅣ				△	○	◎		○
3	応用心理学ゼミⅠ				△	○	◎		○
3	応用心理学ゼミⅡ				△	○	◎		○
4	応用心理学ゼミⅢ				△	○	◎		○
4	応用心理学ゼミⅣ				△	○	◎		○
3	文化人類学ゼミⅠ				△	○	◎		○
3	文化人類学ゼミⅡ				△	○	◎		○
4	文化人類学ゼミⅢ				△	○	◎		○
4	文化人類学ゼミⅣ				△	○	◎		○
3	メディア文化ゼミⅠ				△	○	◎		○
3	メディア文化ゼミⅡ				△	○	◎		○
4	メディア文化ゼミⅢ				△	○	◎		○
4	メディア文化ゼミⅣ				△	○	◎		○
3	女性と権利ゼミⅠ				△	○	◎		○
3	女性と権利ゼミⅡ				△	○	◎		○
4	女性と権利ゼミⅢ				△	○	◎		○
4	女性と権利ゼミⅣ				△	○	◎		○
3	現代社会学ゼミⅠ				△	○	◎		○
3	現代社会学ゼミⅡ				△	○	◎		○
4	現代社会学ゼミⅢ				△	○	◎		○
4	現代社会学ゼミⅣ				△	○	◎		○
3	文化社会学ゼミⅠ				△	○	◎		○
3	文化社会学ゼミⅡ				△	○	◎		○
4	文化社会学ゼミⅢ				△	○	◎		○
4	文化社会学ゼミⅣ				△	○	◎		○
4	卒業論文				△	○	◎		○